

2 調査の実施及び処理

(1) 実施の時期及び処理

各校の合格者発表後、3月下旬から4月中旬までの間に、各校の実状に応じて適宜調査を実施した。なお、解答時間は50分とした（問題用紙はA4判右綴じ、解答用紙はA4判1枚）。

(2) 参加校及び生徒数

期限までに資料の提出があった130校（2学科以上ある参加校はそれぞれの学科を1校とした）の29,836名について諸調査統計の処理をした。内訳は表1のとおりである。

(表1)

課 程	全 日 制				定 時 制	全 体
	普通科	商業科系	家庭科系	その他		
学 科	普通科	商業科系	家庭科系	その他		
学 校 数	97	5	8	20	0	130
生 徒 数	26,083	586	472	2,695	0	29,836

(3) 統計上の調査事項

各参加校には次の事項について回答を求めた。

ア 個人別得点分布

イ 各校10%の無作為の抽出による、各小問ごとの個人得点

注 「群別正答率比較表」（6ページ）のA・B・C群は、(3)イの「各校10%の無作為の抽出による、各小問ごとの個人得点」を基に、学校ごとのまとまりで最上位から300人程度をA群、平均点付近300人程度をB群、最下位300人程度をC群とし、調査対象としたものである。

(4) 小問別応答分析等（詳細分析は9ページから24ページまで）

4校から提供された300名の答案を到達度による得点区分によって、a群＝上位100人、b群＝中位100人、c群＝下位100人に分け、答案に直接当たって応答分析を行った。

なお、各群間の差がほぼ等間隔で付く場合は、〈a－b－c型〉、a群とb群、b群とc群との間隔の差が2：1程度以上で付く場合は、〈a－b c型〉、その逆の場合は、〈a b－c型〉、各群の間隔の差がほとんどない場合は、〈a b c型〉として分類してある。